

竹野

来年教育フォーラムや駅伝の依頼が来た場合が地域連携会議で受け持ちますか。

野澤

基本的にはそのように考えております。地域からの依頼でしたらその都度検討していきたいと思います。

秋山

地域連携会議についてです。2017 年度から各市町村と災害協定など結んでいます。2022 年度はこれから締結を延長したり新規でどこかと結ぶ予定がありましたら教えてください。

野澤

これからも広げられるものは、現在あるものについては検討させていただき

秋山

地域市町村をつなぐ存在として重要だと思いますので、地域のために結んでいただきたいと思います。

坂本

広報メディアですが、魅力的とありますがどのようなものを考えておりますか。

野澤

広報としてまずしなければならないのは正確に外部に伝えることです。しかしそれだけでは賛同者は増えないと思います。そのために広く周知をしていくために、各委員会と連携し目的や意義も含めて公開する必要があると思っております。

笠井

会員拡大ですが、新入会員が入った後にあまり参加していないメンバーに関してのフォローはスポンサーの役割なのか拡大の役割なのか教えてください

野澤

スポンサーは重要な役割と認識しております。私もスポンサーに色々教わり活動するきっかけになっています。現在もスポンサー自身もその意義を感じながら活動しているのかは疑問が残ります。スポンサーにもその責務を果たしていく事を働きかけることは会員拡大委員会の役目だと思っております。

梅本

敷島の掃除をしたときに資料が紙ベースで保存されていました。また 8mm フィルムもありました。今後劣化が進んでいくと思いますが、それらをデータ化する予定はありますか。

野澤

過去にも行っております。大量のネガに関しても紙に関してもする必要があります。広報メディアでも実現に向けて動いていきたいと思います。

小澤

会員拡大は重要だと思います。そのためにはやる気が必要だという計画書ですが、経験として一番やる気が出たのはどんな時ですか。

野澤

今年東原副理事長として働かせていただいた時と、同期委員長の斎藤室長の時にやる気ができました。拡大の必要性とともに、成功したらどのような組織になるかも大切だと思います。過去の思いものをせていきたいと思っております。

小澤

斎藤専務のおかげでやる気になったという返答ですね。今の流れで言うと 2 月例会では斎藤専務がやると思うのですが、どうでしょうか

野澤

現在話の中で、2 月例会の講師としては検討中ですが、オリエンテーションには小澤歴代と細田歴代をお呼びしたいと考えております。

小澤

初耳です。呼んでいただければ行きますが。何が言いたいかというと拡大は重要ですが、過去責任者が一人でやっているというのが現実です。会員に火をつけることが大切だと思いますし、人が減ると活力が減るという所を認知してもらいたいと思います。本日いる皆様にもお願いしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

徳能

理事長予定者から話がありましたが、百個鐘があってもなっていないのが現状だと思います。その中ではハーモニー委員会が必要でそこには例会との連携が必要だと思います。理事長のスローガンが達成できるようにやってもらいたいと思います。エールです。

萩原

今年度青少年委員会として委員会メンバーにこれをやっているという事を伝えることが難しかったです。青少年とメンバーの活動を会員とどのように共有していくかを聞かせてください。

河西

青少年は目的が高いと委員会メンバーが置き去りになってしまいがちです。そこをまとめていくのが大変という認識をしております。ただ会員同士意見をぶつけ合う事で一人一人に思いが伝われば活動頻度が上がっていくので、委員会というものを大切にしたいと考えております。

秋山特別

青少年の写生大会ですが、会員が団結してという記載がありますが、グループ全体でハーモニーとも連携していくというイメージだと思います。ここ2年はコロナでコンテストやハイブリット形式で開催しました。来年はどういうものを主として考えているのか教えてください。私としては親子が触れ合ってという思いもありますのでそこを大切にしてほしいと思います。

河西

私も秋山さんと同じ意見です。形式に関しましては現在の所現地で開催を考えております。また会員の団結という部分がありますが団結の音色室という所で、グループだけでなく全会員を巻き込んで開催したいと思います。

秋山特別

写生大会歴史があります。過去参加した子供が、今大人になって子供を連れて参加するという事もあり、素晴らしい例会だと思いますので頑張ってください。

谷岡

青少年の委員会ですが、メンバーとして女性が少ないと思います。小学校高学年の女の子た

ちのケアやフォローが出来るように、これからの新入会員につきましては女性が入会したら青少年メンバーの検討をお願いします。

河西

女性会員でないと出来ない部分もあると私も考えております。女性の新入会員の配属に関しましてもそこを考慮していきたいと思います。

竹野

シチズンシップについての質問です。9月零愛での予算が30万とありますが、今の段階でどんなことを想定していますか。

奥山

今の時点ですが、予算だけではなく補助金も活用したいと思っております。多くの地域住民の方と共に、他地域の住民を招いての企画を考えております。

萩原

地域課題課題に向けてとありますが、地域課題についても各自の考え方があり違う考えを持っている人もいる可能性があります。そのような人たちに自主的にどのように

奥山

地域課題を見つけるという所も

課題を考えることからしていきます。そこを明確に

9月例会では交流人口増加とあります

秋山

方向性やビジョンを共有という話がありましたが、担当議長の河西さんは過去親睦委員会の委員長経験もあり、人と人をつなぐスキルはあると思います。これは情報共有ための報告会議なのか、

また議案の制度をあげるという話だと思いますが、それは委員長だけではなく室長もメンバーとして入れればいいと思うので

奥山

まず組織力ですが、議案の精度向上はもちろんですが、委員長が通しでする会議は過去あまりなかったです。委員長たちが情報の連携
その過程の中でももちろん河西議長のチェックにより議案の精度もあがっていきますが、それよりもまず委員長同士の連携を深めるところを主軸に置いています。

秋山特別

河西議長の手腕を問われる 1 年になると思いますので期待しております。

名取

総務例会にですか、具体的にどのような事で意識を高めるのでしょうか

齋藤

例会はどのような事をするかという意義の部分伝えていきたい
取りまとめで情報発信で意義をつたえて
欠席者に関しても記録を残しておく

谷岡

毎週一週間のスケジュールが届くのですが、それプラスたくさんの LINE グループもあります。たくさん情報はある中で時間差のばらつきや情報量の多さがあり把握できないこともありました。どのようなルールになっているのか教えてください。

齋藤

公式スケジュールにつきましては google カレンダーで決まったものから掲載してます。事業例会の案内についてはメールで 2 週間前を目安に送信しております。また一週間の予定は特にルールではなく廣瀬専務理事のご厚意で発信しております。また出向関係の情報は届き次第皆様に届くようにしております。出来るだけ遅れることなく配信していきたいと考えております。

谷岡

一番一週間の予定が見やすくとてもありがたかったです。ご厚意だったということで感動

しております。入会したてだと google カレンダーにアクセスするという自発的行動が出来ていなかったのも、配信いただいてありがたかったのも可能であれば同じように配信していただければより意欲的に活動できると思いますので、よろしくお願いします。

齋藤

私は新入会員の時に参加できませんでした。当時あまり情報が来なかったです。皆様にはより多くの情報を入れられるようにしていきたいと考えております。

佐瀬

単純に 5 年に一度総合計画を変えるとありますが、どうして 5 年に一度なのか教えてください。

齋藤

明るい豊かな社会を目指して活動しております。甲府青年会議所は山の都をそうしようと思い計画しております。5 年に一度替える理由としては、社会情勢や組織自体の変化によって計画を見直す必要があると考えております。5 年に一度ではなく変えたいときに変えるのがいいと思いますが、それもタイミングが難しい部分もありますので、5 年というのを区切りとし、その情勢に対応しながら変化させていきたいと考えております。

秋山特別

関東地区大会の登録料は補正で全員登録するという話をいただいておりますが、こちらの予算に反映されていないのですが、その説明をお願いします。

野澤

繰り入れの金額が確定しておりません。次年度新入会員の収入の部は計上しております。今年度が確定し次第そちらに補充していただければと思います。